

報道関係各位

Hitchifunding for refugee プレス  
リリース

2016年3月23日

**難民支援募金活動 Hitchifunding for Refugeeのお知らせ。**

2016年4月23日～5月2日 in 西日本

4月23日～5月2日の10日間にわたってHitchifunding for Refugeeという難民支援活動を行います。ヒッチハイクで西日本を旅しながら国内外の難民問題について出会った人に伝え、共に考え、募金という形でアクションを起こして日本から支援するといった取り組みです。

お気軽にお問い合わせ下さい。

**<目的>**

- ① ヒッチハイクで西日本を旅しながら国外の難民問題についてより多くの人に現状を伝え、募金という形で日本から支援する。
- ② 国内にある難民問題について一緒に考え、難民に対して寛容でない今の日本を変えていくことに寄与する。
- ③ 日本人がどのような意識を持って難民を受け入れていけばいいか、受け入れる準備として何を変えていかなければならないかということについて旅を通して出会った人と一緒に考えていく。
- ④ 教育支援という形で難民の方たちを支援することで長期的な視点での難民問題の解決に寄与する

**<プロジェクト立ち上げの動機>**

昨年の秋ごろ難民問題が連日報道され始めそれに対する関心が自分の中で高まってきました。そんなときに難民についてのドキュメンタリー番組で本当に命からがらシリアから周辺国へ、トルコからヨーロッパへ避難していく難民の映像を見て「自分にも何かできないか!」と強く思ったことが最初のきっかけです。

ヒッチハイクという人のやさしさに触れられる旅を通して、いま同じ地球の上で苦しんでいる人たちの存在を、彼らが助けを必要としている事実を伝えていきたい。その上で募金を集め実際に支援したいと思っています。

**<難民問題の現状>**

シリア内戦が始まって5年、これまでに約400万人のシリア人が故郷を追われ難民

# Press Release

18歳が行く、難民問題を伝え、募金を集めるヒッチハイカー人旅。

として苦しい生活を強いられています。そのうち51%が18歳未満であるといいます。これに対する人道支援は不十分であり、最近では空爆の危険のある祖国へ金銭的や精神的など様々な理由から帰還して行くシリア難民の数が増えてきています。

また、難民問題は国外の問題だけではありません。日本国内も厳しい難民申請手続き、移民局がなく入国管理局が対応しているという構造上の問題、そもそも日本人の多くが難民の受け入れに対して冷たい、などといった問題を抱えています。

## <旅程>

自宅のある滋賀を出発し岡山、広島と山陽を抜け、北九州、長崎、熊本、鹿児島、別府と九州を一周し、尾道、高知と四国経由で京都まで戻ってきます。



## <募金活動の詳細>

目標金額は6万円。基本は助けてくださるドライバーさんと難民問題について話をし、最後に募金の協力の依頼もすることで集めていく。それに加え、旅で訪れる各地の協力者、協力団体と一緒にイベントや街頭募金で集める。

集めさせていただいた募金は公益社団法人 日本国際民間協力会 (NICCO) さんがされているヨルダンにある難民キャンプでの

インフォーマル教育の事業に寄付させていただく。

## <協賛団体>

- ◇ 公益社団法人 日本国際民間協力会 (NICCO)
- ◇ 難民ナウ!
- ◇ 難民支援・研究団体 PASTEL
- ◇ 日本国際学生協会 (ISA) 九州支部
- ◇ Wake Up Japan
- ◇ Café Kenya/326

## <協力者とのイベント>

### 難民ナウ!

難民問題の情報を発信されているラジオ番組。このプロジェクトを実施前、実施中、実施後とシリーズ化して放送していただく。

Share My Heart というアラビア語で難民の方々に贈りたい言葉を紙に書き、それを Facebook にアップしシリアに届けることで難民の方々を励まし、連帯するという取り組みに旅で出会った人に協力してもらおう。

### Café Kenya/326

岡山市にあるカフェで、様々なトピックについて語り合うイベントをされている。岡山に泊まる夜に難民問題を語るイベントを開いてくださいます。

### ISA 九州支部

北九州市を訪れる際に一緒にシリア料理を作ることでシリアという国をより身近に感じてもらう目的で料理イベントを開いてくださいます。

### 神代悠夜さん (高知大3年生)

高知を訪れる際に一緒にバブルマッ

## Press Release

18歳が行く、難民問題を伝え、募金を集めるヒッチハイカー人旅。

プを作成して難民問題に対して理解を深めるイベントを開いてくださいます。

具体的には、日本が5万人の難民を受け入れると仮定してどんな準備が必要か、どんな問題が出てくるかなどについて考え、バブルマップにまとめるといったものです。

### Wake Up Japan

別府市を訪れる際に一緒に難民につい

てのディスカッションイベントを開いてくださいます。議題は難民の抱える苦勞、日本が受け入れる際の準備など。

### PASTEL

京都で高校生対象のディスカッション兼旅の報告会を一緒に開くことを計画中です。

---

### プロフィール

#### 吉岡大地 Hitchfunding for Refugee 発起人

京都外大西高校国際文化コース卒業。在学中にユネスコ ESD 高校生国際会議に関西地区代表として参加。さらに、関西高校模擬国連 2015 にブロックリーダーとして参加し、さまざまな国際問題について学ぶ。

また、東北被災地ボランティア、祇園祭ごみゼロ大作戦、TEDxKyoto などのボランティア活動を多数経験。

現在ドイツの University of Freiburg に進学志望し勉強中。

〒520 2141

滋賀県 大津市 大江 5丁目33-73

Email: [dy.totto.ger@gmail.com](mailto:dy.totto.ger@gmail.com)

TEL: 090-1248-7413

Facebook ページ:

<https://www.facebook.com/Hitchfunding-for-Refugee-1049754118380507/>